



▶ 住宅用火災警報器の電池切れを発見

4月21日に本町地区（線路上町）の一般家庭防火査察を実施しました。

なかには、住宅用火災警報器が電池切れをおこしているものがありました。このような状態になると火災の熱や煙を感知できず、逃げ遅れの原因になってしまいます。

作動確認の方法は、テストボタンを押すもの、点検ひもを引くものなどがあり、これらの操作をしても何も反応のない場合は、電池切れをおこしている可能性があります。

下の写真を参考に作動確認をしてみましょう！



▶ 災害弱者へ万全の配慮を！

『災害弱者』とは、災害が発生して身に危険が迫った場合の情報収集や避難行動に対して、ハンディキャップを持つ人のことで、主に、災害に対する備えや災害時に避難行動などが困難な高齢者や乳幼児、体の不自由な方や言葉が通じない外国人、また、土地勘のない旅行者などが対象となります。

近年、火災や地震、津波などの災害時に、災害弱者の被害が増加しています。こういった被害を最小限に食い止めるためには、家族や隣近所の人、自治会などの協力体制が必要不可欠であり、避難を一緒にするなど配慮がとても重要となります。

災害が発生したときにどのように行動したらよいかなど、家族みんなで話し合っておくことが大切です。

4月 豊浦町火災・救急発生件数

- 火災件数 0件(累計 2件)
- 救急件数 19件(累計 76件)

豊浦消防団 (5月1日現在)

消防団本部	9名
第1分団(本町地区)	37名
第2分団(大岸地区)	18名
第3分団(礼文華地区)	21名
定員85名	計85名

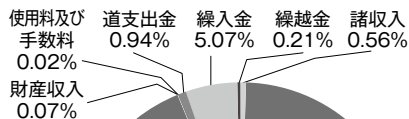
西胆振行政事務組合 平成30年度予算概要

平成30年度予算が、3月開催された西胆振行政事務組合議会定例会で議決されました。

歳入では、割合が最も大きいのが消防負担金で、構成4市町の規模(人口割、財政割)および均等割により負担率が決められています。

歳出では、給与費が最も大きく、その他の歳出は主に消防本部、各消防署(支署)の活動経費に充てられます。

■ 歳入



■ 歳出



単位：千円

【歳入】	1,453,285
1. 消防負担金	1,353,422
(内訳)	
伊達市	684,269
洞爺湖町	306,025
豊浦町	190,892
壮瞥町	172,236
2. 使用料及び手数料	320
3. 道支出金	13,662
4. 財産収入	1,041
5. 繰入金	73,640
6. 繰越金	3,000
7. 諸収入	8,200

単位：千円

【歳出】	1,453,285
1. 議会費	2,144
2. 監査委員費	376
3. 消防費	381,178
4. 衛生費	191
5. 給与費	1,030,454
6. 公債費	37,342
7. 予備費	1,600